

*登園基準について

厚生労働省の「保育所における感染症対策ガイドライン」に沿った登園基準についてお知らせします。
下記の基準を守って登園してください。

(1) 発熱の場合

登園を控えるのが望ましい場合	保育が可能な場合	保護者への連絡が望ましい場合
<p>発熱期間と同日の回復期間が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝から 37.5℃を超えた熱とともに元気がなく機嫌が悪い。 食欲がなく朝食、水分が摂れていない。 24 時間以内に解熱剤を使用している。 24 時間以内に 38℃以上の熱が出ていた。 	<p>前日 38℃を超える熱が出ていない</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱が 37.5℃以下で元気があり、機嫌がよく顔色がよい。 食事や水分が摂れている。 発熱を伴う発しんが出ていない。 排尿の回数が減っていない。 咳や鼻水を認めるが、増悪していない。 24 時間以内に解熱剤を使っていない。 24 時間以内に 38℃以上の熱は出ていない。 	<p>38℃以上の発熱がある</p> <p>(園では 37.5 以上で連絡します)</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気がなく機嫌が悪い。 咳で眠れず目覚める。 排尿回数がいつもより減っている。 食欲なく水分がとれない。 <p>※熱性けいれんの既往児は医師の指示に従う。</p>

(2) 下痢の場合

登園を控えるのが望ましい場合	保育が可能な場合	保護者への連絡が望ましい場合
<ul style="list-style-type: none"> 24 時間以内に 2 回以上の水様便がある。 食事や水分を摂ると下痢がある。(1 日に 4 回以上の下痢) 下痢に伴い体温が平熱より高め。 朝、排尿がない。 機嫌が悪く元気がない。 顔色が悪くぐったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染のおそれがないと診断されたとき。 24 時間以内に 2 回以上の水様便がない。 食事や水分を摂っても下痢がない。 発熱が伴わない。 排尿がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事や水分を摂ると刺激で下痢をする。 腹痛を伴う下痢がある。 水様便が 2 回以上みられる。

(3) 嘔吐の場合

登園を控えるのが望ましい場合	保育が可能な場合	保護者への連絡が望ましい場合
<ul style="list-style-type: none"> 24 時間以内に 2 回以上の嘔吐がある。 嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである。 食欲がなく水分もほしがらない。 機嫌が悪く元気がない。 顔色が悪くぐったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染のおそれがないと診断されたとき。 24 時間以内に 2 回以上の嘔吐がない。 発熱がみられない。 水分摂取ができ食欲がある。 機嫌がよく元気である。 顔色が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 咳を伴わない嘔吐がある。 元気がなく機嫌、顔色が悪い。 2 回以上の嘔吐があり水を飲んでも吐く。 吐き気がとまらない。 お腹を痛がる。 下痢を伴う

*治癒通知書の提出は求めませんが、再登園に関してはかかりつけ医の指示に従ってください。

病名	感染しやすい期間	登園の目安
インフルエンザ	症状がある期間（発症前 24 時間から発症後 3 日程度までが最も感染力が強い）	発症後 5 日を経過し、かつ解熱した後 3 日を経過するまで
百日咳	抗菌薬を使用しない場合、咳の出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること（抗菌薬を決められた期間服用する。7 日間服用後は医師の指示に従う。）
はしか（麻疹）	発しん出現の前 7 日間から後 7 日間くらい	解熱後 3 日を経過してから
おたふくかぜ （流行性耳下腺炎）	発症 3 日前から耳下腺腫脹後（耳の後ろから顎にかけての腫れ）	耳下腺の腫れが消失してから
三日はしか（風疹）	発しん出現の前 7 日間から後 7 日間くらい	発しん（ぶつぶつ）が消失してから
水ぼうそう（水痘）	発しん出現 1～2 日前から痂皮（かさぶた）形成まで	すべての発しんがかさぶたになってから
プール熱（咽頭結膜炎） 【原因ウイルス：アデノウイルス】	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え、2 日してから
流行性角結膜炎 【原因ウイルス：アデノウイルス】	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため、結膜炎の症状が消失してから
結核		感染のおそれなくなってから
腸管出血性大腸菌感染症 （O157、O26、O111）		症状が始まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、48 時間をあけて連続 2 回の検便によって、いずれも菌がないと確認されたもの

*登園届の提出は求めませんが、再登園についてはかかりつけ医の指示に従ってください。

病名	感染しやすい期間	登園基準
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 1 日間	抗菌薬内服後 24～48 時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳がおさまっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱（みずぶくれ）・潰瘍（ただれ）が発症した数日間	発熱や口腔内の影響がなく、普段の食事がとれること
リンゴ病（伝染性紅斑）	発しん（ぶつぶつ）出現前の 1 週間	全身状態がよいこと
ウイルス性胃腸炎 【原因ウイルス：ノロ、ロタ、アデノウイルスなど】	症状のある間と症状消失後 1 週間（数週間ウイルスが便の中に含まれているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状がおさまり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	発熱等症状が出てから数日間（便の中に 1 カ月程度 ウイルスを排泄しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱（水ぶくれ）・潰瘍（ただれ）の影響がなく、普段の食事がとれること
RS ウイルス感染	呼吸器症状（ヒューヒューという呼吸音、咳、痰）	呼吸器症状が消失し、全身状態がよいこと
帯状疱疹	水疱（水ぶくれ）を形成している間	すべての発しんが痂皮化（かさぶた）してから
とびひ（伝染性膿痂疹皮膚化膿症）	水疱（水ぶくれ）、びらん（ただれ）から膿が出ている間	・水疱（みずぶくれ）・びらん（ただれ）面をガーゼ等で保護できること ・水疱（水ぶくれ）・びらん（ただれ）面が乾燥し、膿などが出ていないこと
突発性発しん		解熱し、機嫌がよく、体調がよいこと